
3S能力者の日記

不協和音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

SS能力者の日記

【Nコード】

N2756Y

【作者名】

不協和音

【あらすじ】

嫌々敵を殺した最強の能力者の少女の日記まがいの物

評判が良ければその後の彼女の物語を書きたいと思います。

人が沢山死んだ、いや？私が殺した・・・
何故殺したか聞かれても仕方ないとしか答えられない。

私はランク3Sの能力者だ、つまり一番強い能力者。

私の家族はランク外つまり能力者じゃない。

だけど、両親は私を愛してくれた。

能力が芽生え家をめちゃくちゃにしてみましたらしいけど変わらず愛してくれた。

私は3歳の時両親と離され軍の能力者養成所に入れられた、軍の人たちは敵を沢山殺せば両親と一緒に暮らせると言った、だから私は頑張った沢山殺した。

人を殺すのは嫌だった嫌で嫌でも両親と会えないのはもつと嫌だった。

5歳の時には元帥と呼ばれた、でも両親には会わしてくれなかった。

6歳の時に戦争は終わった、和解したらしい元々私たちは劣勢だったので良かったらしい。

決め手は私が一人で潰した国に敵連合の偉い人がいたらしく私が怖かったらしい。

今は7歳になった。それでも軍は私を家に帰してくれない

「お家に返してくれないと殺すよ」

私は軍の偉い人に殺気を込めて言った。

「どっどっぞ」

なんだはじめからこうすれば良かったんだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2756y/>

3S能力者の日記

2011年11月15日06時44分発行